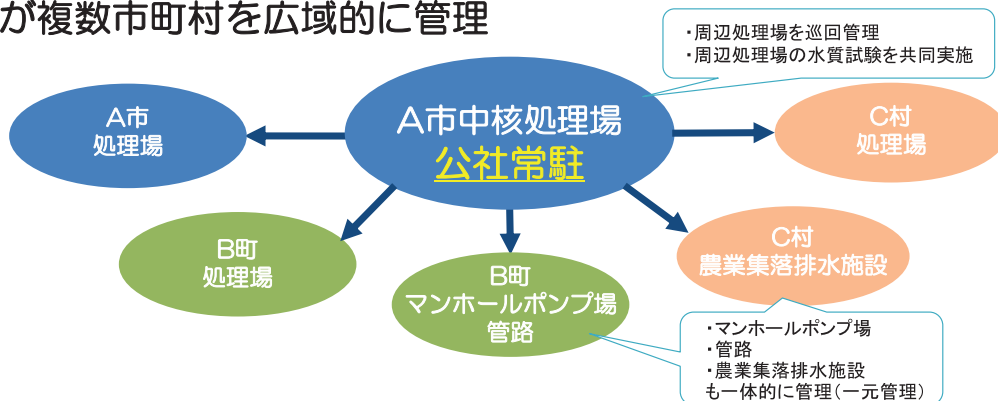


アセットマネジメント部門

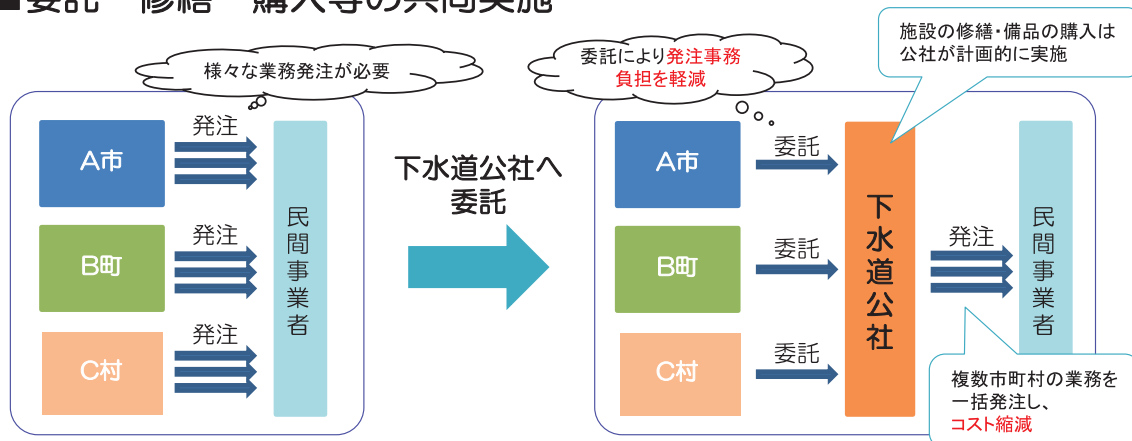
下水道公社を活用した下水道事業の広域化・共同化

公益財団法人長野県下水道公社

■公社が複数市町村を広域的に管理



■委託・修繕・購入等の共同実施



PRポイント!

長野県下水道公社は、専門技術者の確保が困難な中小市町村の支援を目的の一つとして平成3年に設立され、長野県、市町村及び公社が策定した「長野県下水道広域管理構想」に基づき、広域化・共同化を推進してまいりました。平成28年度は、30市町村等53処理場の管理業務を受託しています。

個々の市町村からの委託業務を公社がとりまとめることによって、各市町村間の調整等に大きな時間や手間をかけずに広域化・共同化等による効率的な体制づくりを実現しています。

県内の平均汚水処理原価を比較すると「市町村の直接管理」よりも「公社管理」の方が10%以上低くなっており、処理コストの低減に貢献している結果と考えています。

Key Person



技術管理課長
中村 貞夫

公社は、民間の維持管理業者とは異なり、市町村職員が行うべき監理監督等の業務を代行しています。もともと少人数の職員で運営している市町村からは公社費用が単なる負担増ととられることもありましたが、これまでの管理実績やトータルコストの削減実績を評価していただき、現在、多数の市町村から受託を頂いています。

今後も、ストックマネジメントへの対応や各種計画策定など、下水道事業全般に対するサポートにむけて尽力してまいります。